

福井県退教通信

編集・発行所
福井県退職教職員会
郵便番号 910-8544
福井市大手2-22-28
福井県教育センター内
電話 (0776)23-9191
第51号

提言

県退教を支える人たちに感謝しながら



副会長 鍋谷 純意

平成24年度から、福井県退職教職員会の企画・運営に携わり、今年度 副会長に就任しました。
私は、本会が今もあり、活動できるのは、本会を支える会員がおられ、会を推進する役員がおられるからだと思っています。多くの先輩が推進してきた役割を今度は私が……そんな年回りになったのだと思っています。

本会の運営には、色々な要望や要求を持ちながら、温かく見守ってくださる会員の皆さんがおられることを忘れず進めていくことが大切だと考えています。

これらの人たちの思いを本会の活動に反映させるには、どう取り組んだらいいのでしょうか。本会の会員は2500余名を数える大きな会です。会が大きくなればなるほど、総ての要望や要求を反映させることはなかなか困

難です。執行部を預かる立場の者は、現状維持ができればいいと自己満足してしまいがちです。

本当にそれでいいのでしょうか。確かに現状を維持していくと簡単に言いますが、本会のような大きな組織を継続して維持していくことは大変なことであり、色々な難しさがあります。現状維持することとは、それなりに大変なことであり、素晴らしいことだとも思っています。

だからといって、最初から現状を維持するだけでいいという考えで、本会の運営を進めていけば、本会の前進や拡大、成果は望めないと思いません。

ですから、私たちは会を支える人たちに感謝の思いを忘れず、どうすれば設立当時の意義や目的に沿えるか、また、長い年月を経ることによって変容してくる会員の要望や要求をどう反映させたらよいか、どう進めていったらよいか、絶えず念頭に置きながら事業の企画・立案・運営に生かしていかなければと思えます。そんな繰り返しの中で、現状を維持することになってしまいうこともあってしょう。でも、そう言ったとしても、その時に検討されたことは、今後の取り組みに必ず生きてくるはずなのです。先輩たちもそんな過程の繰り返しの中で本会の長い50年の歴史と伝統を築かれ、今日の私たちに引き継がれているのだと思います。私も、先輩方が歩んだ道を踏襲しながら、会の更なる飛躍に繋がるよう職務を全うしなければと思っています。本会を支えてくださっている会員の皆さん、更なるご支援・ご協力をお願い申し上げます。

平成29年度 親睦旅行 ご案内

世界遺産・聖地高野山と紀南の歴史・文化・自然を探訪する旅

1. 期日 5月16日(火)～17日(水) (1泊2日)
2. 行先 高野山、白浜温泉
3. 費用 38,000円(予定) 退職互助会の宿泊利用補助券も使用できます
4. 募集 80名(先着80名。早めにお申し込みください)

参加希望者は2月28日(火)までに〒910-8544 福井市大手2-22-28 県教育センター内 県退教宛 ハガキで申し込んでください。
※氏名・年齢・性別・郵便番号・住所・電話番号を記入
参加者には3月中に資料を郵送します。

1	5月16日 火	福井各地＝敦賀＝世界遺産 高野山(空海が開いた真言密教の聖地弘法大師の御廟「奥之院」、総本山「金剛峰寺」を専門ガイドが案内・昼食)＝龍神街道＝白浜温泉(泊) 1300年の歴史ある温泉と親睦を深める大宴会! 17:45ころ
2	5月17日 水	ホテル＝三段壁(熊野水軍の隠し洞窟といわれる古跡)＝千畳敷(海に広がる大岩盤) 8:30 ＝南方熊楠記念館(博物学、民俗学、生物学など世界的に活躍)＝紀州梅(工場見学) ＝紀州道成寺(能や歌舞伎で知られる安珍・清姫伝説)＝福井各地 19:00-20:30ころ

※ 交通状況や施設・機関の都合により記載時間、行程に変更が生じる場合があります。

ゆっくりでいい!

福井支部 嶋田 直美(新入会員)

3月に退職し半年。ちょっとだけ地域にデビュー。でも、慣れないことやできないことばかり。高齢者のお食事作りは調理実習のように学ぶことばかりで、地域のお付き合いはよくわからない。家庭菜園(?)の野菜はうまく育たない。仕事は週3日。9時から17時で、自由な時間があるはずなのに、何かと用事ができてくる。でもいい。慌てなくても。ゆっくりとできることをやろう。これまでできなかった時間と手間をかけよう。新たなつながりも作ろう。

心ときめく愉しみ

大野支部 福田 玲子(60代)

市内の数校の子供たちやブックスタートで赤ちゃんに読み聞かせボランティアをしている。じっと聞き入る子供たちの表情にワクワクし、心ときめくのは嬉しいもの。また、大学で教科化目前に転換期を迎えた道徳の心育てについて学生に教え論じ合うことはやりがいもあり、サークルの太極拳を通して留学生との交流も心ときめく。趣味の講座でいろいろやりましたが、今、卓球が面白い。ラリーにトキメキながら、夫婦でいつまでも元気で愉しみたい。

若冲に魅せられて

勝山支部 壺内 茂子(60代)

福井県で初めて若冲の作品を見てから3年ぶり、今年は東京で、300年の時空を超え「動植綵絵」と対面することができた。それは至福の時だった。長男夫婦との同居で、孫の世話や家事に追われ、心が干からびそうになる時がある。そんな中で唯一の楽しみが美術鑑賞。日野原重明先生がその著書で「人間を癒すのは芸術である」と記されていた。少しでも人生を豊かにしていくため、これからもアートを楽しむ旅ができればと願っている。

UAEに行けるかな

坂井支部 高木 嘉紀(新入会員)

退職して半年の10月、メルボルンの地に立った。サッカー日本代表の応援である。

大学で始めたサッカーに、教員として関わらせてもらってきた。家族旅行が観戦がらみであったり、サッカーに合わせた年間計画を組む教務主任と言われたりしてきた。

小中学生に夢を与えるために、日本代表の応援はサッカーに関わらせてもらった者の務めである。大仰で笑える理由を付け、スタジアムへ足を運ぶ。ワールドカップがロシアで待っている。まずは3月埼玉へ(UAEが先か)。

学校の現状と課題**「脱ゆとり教育」の先に**

県教組書記長 勝見 義治



最近、〇〇教育という言葉をよく聞きます。主権者教育、キャリア教育、プログラミング教育…。

また、カタカナの教育用語も増えました。アクティブ・ラーニング、カリキュラム・マネジメント…。すべて次期学習指導要領について語られる時、俎上に載る言葉です。

2020年度からの実施に向け、今年度は特に慌ただしさが増えています。

6月に馳浩前文科相は、次期学習指導要領では「ゆとり教育」か「詰め込み教育」かの二項対立的議論には戻らないと述べました。学習内容の「量」と主体的な学習による「質」の両立を果たすとしています。その理想は実現可能なのでしょうか。教職員の多忙な状況は、多くの調査や報道が示す通りです。また、子どもたちも習い事や部活により週末まで予定がびっしりといった忙しさの中にいます。拙速な教育改革によって、子どもたちや教員からゆとりが奪われていく様子が目に浮かびます。

「忙しさ」は、実は教育にもっとも馴染まないものではないでしょうか。迷う時間をたっぷりもち、時に苦しい思いも

を
きる
すばらしい!

つながりを大切に

鯖江支部 屋木 洋一 (60代)

ザバーン！黒光りする躰を跳ねさせる数十頭のイルカたち。三国沖でたまに出会います。県内外に150名強の会員がいるミニボート釣りの同好会に以前から所属し、釣り仲間と釣行しています。退職後に始めたバウンドテニスも、クラブに入って練習に参加し、大会にも出場しています。どちらも少しでも上手になろうと工夫しながら取り組んでいます。会員の交流も活発で、楽しみながらたくさん学んでいます。他の趣味や地域の活動でも様々な人とのつながりを大切に、楽しく過ごしていきたいと思ひます。

写真で充実した楽しい人生

武生支部 岡田 栄一 (70代)

写真で3度楽しめます。見て楽しみ、撮って楽しみ、多くの人々に見てもらって自分も一緒に楽しんでいます。本年9月に、私の『喜寿』の写真展を開いたところ、450名もの多くの人々に鑑賞してもらい、お褒めの言葉やご指導をいただきました。写真撮影には、各地を歩き廻るので健康にもよく、仲間と楽しい撮影旅行を楽しんでいます。

写真は私の人生を楽しくしてくれ、私の生きる力になっています。

みんな一緒に健康になろうよ

三方支部 中西 紘子(70代)

10年来続けているフラダンスの練習で股関節を痛めてしまった。どの医者にかかっても筋力をつけなければと言われ、全てを理解した。一連の体の衰えは筋力の低下からきているのだ。ジムへ行ってみようと思ひ立ち、1週間に1回2時間を原則に通ひ始めて半年。いつしかその痛みが無くなっている。周りを見てみると膝が痛い、腰が痛い、股関節が痛い日々悩んでいる人がなんと多いことか。この私の喜びを他の人たちにも分かちたい。そのために筋力アップの体操教室を集落に立ち上げよう。今その仲間と取り組み始めたところである。

今、とってもつらいけど

小浜支部 藤田 和弘 (70代)

9月初旬の夜9時頃、慣れ親しんだ海岸で、窪地に右足を突っ込み、全身をしたたか打ち付けた。両手、両足が擦り剥け痛いことこのうえなし。後で気が付いたら右足首も異常。10日たっても足の腫れがひかず知り合いの外科医へ。診断は捻挫と二箇所の骨折で、それ以後は松葉づえとギプスの生活。医者は、しばらく様子を見て痛みがなくなれば手術をすることのこと。

日常生活はとても不便で、特にトイレや入浴は一苦労。昨日はふらつき、家の中で一番上等な座敷の障子ガラスを割ってしまった。どこか体の1箇所でも具合が悪くなると、いろいろなところに不都合が起きてくる。腰痛や左足の変調、それに胃腸までおかしくなりだした。近頃、体力や気力も落ち込んできた。「あーあ、私の人生、終わりに近づいているのかな。」こんな状態でも晩酌は欠かさない。しばらくすると、とてもよい気分。「もう一度枯木に一輪の花を咲かせよう。」今、毎日、忍の一字で頑張っている。普通に歩くことができることを願って。

今
生
き
る
っ
て

署名御礼

今年も「教育条件整備を
求める請願署名」を皆様
にお願ひしましたところ
合計7235筆の署名が
集まりました。
ご協力いただいた皆様に
心より感謝申し上げます。

つ、やり直すチャンスを得ながら育って
いく。そんな時間こそ次世代を背負う子
どもたちには必要でしょう。
「忙しさ」ばかりではありません。現政
権は「教育再生」の名のもと、財界の要
請にもとづいた競争と管理教育を強化し
つつあります。世界トップレベルの学力
と規範意識をめざす政府は、検定教科書
で特定の価値観を押し付け、学力調査で
点数学力を求めます。
その中で、子どもたちは学ぶ喜びを奪
われ、自己肯定感や学習意欲をもてず、
いじめ・暴力など様々な形で大人に悩み
を発信しています。教職員も管理強化の
政策により、創意ある実践が阻害され協
働的な職場が分断されつつあります。今、
学校は国家のための教育を押し付ける戦
前の教育に回帰しようとしています。
学校を子どもたちが安心して過ごし、
意欲をもって学べる場として取り戻さね
ばなりません。そのために県教組の取り
組みはますます重要性が増しています。
今後も力強く運動を進めてまいります。
どうぞお力添えの程、よろしくお願ひい
たします。

野坂清光さん (吉田支部)

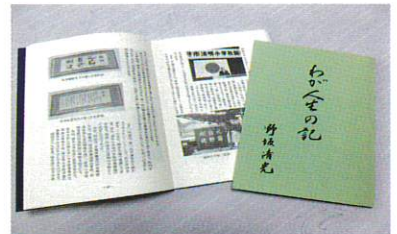


〈現職中の一番の思い出は〉

いろいろありますが、特に苦
勞した思い出は二つあります。

その一つは、私が福井市教組
の書記長をしていた昭和36年
に、日教組の全国教育研究会
が、急に福井で開催されるこ
となり、その準備や会場作り
に苦心したことですね。中でも
福井市議会議員の中で反対し
た人の説得や、会場設置など
に苦勞しました。

二つ目は、昭和56年、足羽
中学校の教頭をしていたとき、
突然、福井市教育委員会勤務を
命ぜられ、新設の「清明小学
校」の開校準備に当たったこと
ですね。教育方針や学校備品のす



80歳時作成の自伝より

て、消耗品の鉛筆一本に至るま
で揃えなければならず、それは
大変なことでした。その上、開

お元気ですか！

年齢を重ねても、今なおいきい
きと活動されている方を訪問し、
長寿や豊かな生き方の秘訣につ
いてお話を伺ってきました。

(訪問者・編集委員)

城戸静栄さん (丹生支部)



〈現職の頃の思い出〉

昭和19年、吉川小学校で教職
生活をスタート。高等科2年の

生徒は私より体も大きく、見上
げていました。戦時中、空襲警
報が出た時は、奉安殿地下室に
退避しました。その後、分校勤
務も経験し、特殊学級も持ちま
した。

小学校の先生は「よろずや」
です。紙に書かれた鍵盤で普段
はピアノの練習をし、郡の音楽
大会で担任した子が独唱した時
は、遮二無二練習し、伴奏しま
した。

始業時は、自分の家の方を向
いて「おはようございます。今
日、頑張ります」と子どもに言

わせ、家族への感謝の心を忘れ
ないように努めました。

38豪雪のときは、電車は止ま
り6里ほど歩いて学校へ。学校
に泊まったこともありました。
体が弱かった私が教職生活を
全うできたのは両親、ご先祖さ
まのお陰です。

〈私の宝物〉

担任した子どもたちの名簿や
写真です。時々、眺めています。
教え子が高校に合格した時はお
祝いの手紙を書きました。返信
も大切にしています。

〈退職してからの楽しみ〉

校までに校区を確定しなければ
ならず、地区住民の同意を取り
付けるのにも大変苦勞したもの
でした。

〈退職してからのこと〉

退職してからは、社教主事と
して中央公民館に勤務し、それ
と同時に学生服メーカーの顧問
も委嘱され、公民館勤務の合間
に、県内中学校を訪問して、ト
レーニングウェアの宣伝をする
という二足のわらじで、大変忙
しい日々を過ごしました。その
後、民間の教育対話主事という
職に就き、保護者の方の教育相
談や指導に当たり、73歳でやっ
と無職になりました。

〈今一番の楽しみは〉

80歳頃から始めた絵手紙です。
自宅の庭に咲いた季節の花々を
中心に描き、私の人生観も言葉
にし、添えています。作品を知
人や教え子に贈り、喜んでも
らっています。絵手紙展も開催
しました。

畑で野菜も作り、草むしりに
も励んでいます。

無職になってからは畑仕事に
精を出し、その間には、各地の
温泉巡りをしました。

そして、念願だった万座、草
津、下呂温泉にも行くことがで
きました。1年足らずで大病
を患い、以後は、病院通いが日
課になってしまい、今はあまり
元気とは言えませんが、でも、
最近では2人のひ孫の成長を眺め
ながら、楽しい毎日を過ごして
います。

〈若い人に一言〉

年をとってから病気に苦しむ
ことは、一番つらいことです。か
ら、若いときから健康に十分注
意することを心がけてほしいで
すね。

私の足は三輪自転車。今も在
所の西田中を元気に乗り回して
います。

電車やバスに乗ると、昔の教
え子から声を掛けられます。担
任していなかった子からでもす
よ。嬉しいものです。

〈若い人に一言〉

今は環境が良く、物があり過
ぎて感謝の心
が足りません。
有難さを忘れ
ています。親
も子どもをあ
まり叱らない
ですね。



文人の心を後世に

坂井支部 西川 憲弥

師弟抒情

I
小さい港。小さい港市

そこに師はいた。

私がやってきた。踵と失った兵隊靴で

ルックザックの中の李朝の椀がカタカタ鳴った。
故郷です。

ここでお前の命と得よ。

〔三雄詩集〕より抜粋

則武 三雄

昭和20年、18年ぶりに朝鮮から帰国した則武三雄は、師の三好達治が迎ええる三国港駅に降り立ちます。

この師弟の情、三雄の決意を海風の景色の中で味わってほしい；そんな想いを込めながら、この写真の「三国詩歌文学館」碑を設置しました。

これは一例ですが、三国に縁のある文学者の住まいや関わり



三国港駅に立つ「詩歌文学館」碑

のある場所近くに「詩歌文学館」碑を設置する一般社団法人三国會所の取り組みは、平成20年度から開始されました。現在までに、高見順(2基)、濱川博、平澤貞二郎、三好達治(2基)、高浜虚子・伊藤柏翠・森田愛子、哥川、近松門左衛門、室生犀星、則武三雄、多田裕計の12基を設置しました。

作成には、担当者会議、詩(作品)の吟味、写真、略歴、逸話、著作権取得、設置場所の了解等々、かなりの苦勞もありますが、皆、「この文人の心を伝えていきたい」との思いで一致していますので、やりがいを感じております。

海岸沿いの「荒磯遊歩道」には7基の文学碑が、各界各層の方々からのご厚志で建立されて

永平寺町に特産品あり

吉田支部 齋藤 治孝

地域それぞれには色々な特産品があることと思いますが、私たちの永平寺町でのピクニックコーン(以下PC)の紹介をします。

平成24年PC生産部会結成から本格的な取り組みになります

から、歴史は浅いのですが、今では「永平寺町のPC」として名が売れてきました。PCの特徴は、スイートコーンとしては中型種で非常に糖度が高く平均18度以上もあり、強い甘味を誇る極甘とうもろこしです。また、冷やせばさらに甘味が増し、甘味の持続性も優れているため、日持ちが良いのが特徴。粒皮が他の品種より柔らかく、フルーツのような甘さで、生でも美味しく食べることができ、見た目には小さく12〜15cm(手の平サイズ)で、一般的なおもろこしの7割程度の大きさです。冷やして食べるにはちょうど良いとして大人気の品種です。

地域の宝を守り伝える!

各地域には豊かな自然、貴重な生き物、民話、古典芸能、伝統行事等の宝がある。これらを守り伝え、地域貢献・地域創生を生きがいに取り組まれている会員の活動を紹介します。

います。また、高見順の碑では荒磯忌、則武三雄の碑では葱忌が毎年催され、三国高校生の詩の朗読も聞きながら故人を偲んでいます。

私たち三国會所では、今後も、23年間の活動をもつボランティア「きたま三国」をはじめ市民の方々と各学校とも協力しながら、「文学の里」を継承していきたいと思っています。

現在45名の会員で、年間計画に従った活動を行っています。部会結成の年に部会の活動として、30aの圃場でPCを共同栽培し、会員が栽培技術を学び、その後のPC品質向上につながるハウス栽培では出荷

を早めて生産、毎年6月10日頃から1週間程度「れんげの里」(昨年からはエルパの永平寺コーナーでも)で求めることが可能です。これが終わると、露地栽培の出荷が始まり、7月上旬〜下旬にかけて求めることができず。また、7月10日頃の土・日には「PC祭り」として集中販売を「れんげの里」を中心に行っています。

今年も9日・10日のPC祭り当日では、10時の開店時には長蛇の列。一人5本までとしても午前中には準備したPCが飛ぶように売れ、2日間とも完売でした。

「祭り」後も需要は高く、生産が追い付いていないのが作今です。是非試食の程を!



写真で伝える 昭和の学校

シリーズ①
昭和20年～30年
の学校

戦後70年が過ぎ、「昭和」という時代が次第に薄れてきています。終戦直後の混沌とした状況から高度成長を成し遂げた昭和。その頃の学校や教育の様子、子どもたちや教職員の姿などの記憶や資料が消失してきています。

私たちは平成30年に創立50周年という節目を迎えます。この機会に「記憶を記録にしたい」「私たちが今できることで、次の世代へ伝える何かを残しておきたい」と考え、「昭和の学校」を4回シリーズで掲載します。

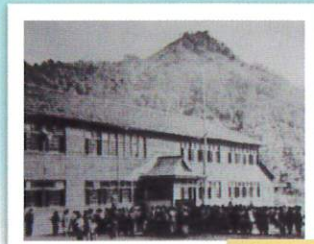
校舎や施設



天幕教室 (春山小 S23)



県庁前の地割れ



野向小



敦賀北小

授業風景



ドラマ放送



日本一長い校舎 (武生西小)



ゆび人形劇

視聴覚教育 (柚山小 S25)

※現南条小



研究授業 (大飯・本郷小)



授業風景 (大虫小)



戦後歴史教科書第1号 (宮崎小蔵)



乾布まさつ (野木小)

給食



学校給食開始 (武生西小 S27)

給食数え歌
 一つとや 昼だよ 昼だよ 嬉しいな
 二つとや お手々を洗って 待ちましよう
 三つとや 普段の栄養 大切だ
 お家で話そう食改善
 見てもおいしい 給食だ
 偏食しないで いただこう
 (宮崎小)

登下校



集団登校 (下池田小)

※S30に下池田小は池田第二小に⇒現池田小

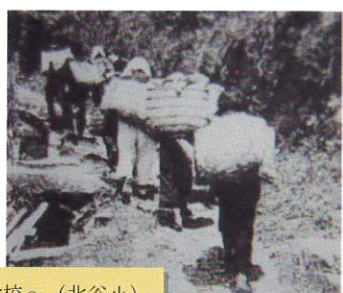
学校行事



川開き (成器西小 S28)



久々子臨海学習 (旭小)



山蓐を学校へ (北谷小)

※H9に廃校



学芸会 (旭小)



修学旅行 (野木小 S29)

PTA・地域・その他



学校で子守 (上池田小田代分校)

※S30に上池田小は池田第一小に⇒現池田小



PTA奉仕作業 (大虫小)

【写真・情報の協力者・団体】

- | | |
|--------|--------|
| 春山小学校 | まなべの館 |
| 旭小学校 | 北川雅氏 |
| 野向小学校 | 吉田滋氏 |
| 成器西小学校 | 平野英子氏 |
| 池田小学校 | 小泉由美子氏 |
| 武生南小学校 | 清水俊之氏 |
| 武生西小学校 | 八田聡氏 |
| 大虫小学校 | 繁田良三氏 |
| 宮崎小学校 | 福島紀男氏 |
| 南条小学校 | 和田保男氏 |
| 敦賀北小学校 | 奥本明義氏 |
| 野木小学校 | |
| 本郷小学校 | |

ご協力、ありがとうございました

福井県退職教職員会事務局
TEL&FAX 076-23-9191

【お問い合わせは】

その年代を象徴するようなものを掲載したいと思っております。ご協力ください。

あなたの思い出のアルバムの中に、残したい昭和の学校の写真はありますか？

など、

- ⑧ PTA・地域活動・その他
 - ⑦ 教職員・職員室の様子
 - ⑥ 休憩時
 - ⑤ 登下校風景
 - ④ 給食
 - ③ 学校行事
 - ② 授業風景
 - ① 校舎や施設
- 次のような写真を募集します

【掲載予定】

- ・51号 昭和20年～30年
- ・52号 昭和30年～40年
- ・53号 昭和40年～50年
- ・54号 昭和50年～63年

「特集・写真で伝える昭和の学校」を企画しました。

募集

昭和の学校の写真

平成30年の50周年記念事業

に向け、県退教通信では消えゆく昭和の学校の様子を残そうと

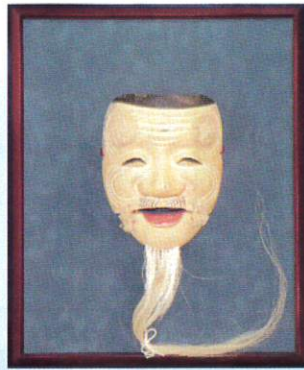
「特集・写真で伝える昭和の学校」を企画しました。

ミニギャラリー



日本画

「滝」
山下利恵子氏



能面

「白式尉」
三浦三博氏



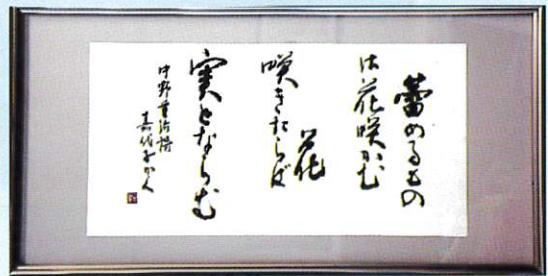
水彩画

「葱」
三田村恵子氏



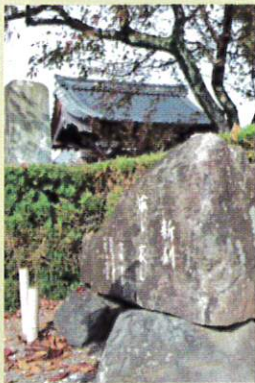
絵手紙

「夢を」
城戸静栄氏



書

「中野重治の詞」
上出嘉代子氏



平乗寺北側の文殊小学校(重吉の母校)には、玄関近くの廊下に、重吉の歩みの展示物があります。彼の演劇人生を支えた郷土愛の記念でもある演劇碑をお訪ねの際には、文殊小学校の展示もご覧になってはいかがでしょうか。

この演劇碑は、昭和55年秋、劇団芸芸創立30周年を記念して、愛する福井の誕生地に建てられました。除幕式には、福井公演に来ていた劇団民芸の奈良岡朋子さんと米倉齊加年さんたちを交え、ひっそり行われたそうです。その後、彼は福井に戻ると、時々太田町を訪れています。

福井の生んだ名優、福井をこよなく愛した宇野重吉の生まれ故郷は、福井市太田町です。町内の平乗寺門前に、重吉の演劇碑があります。3m四方の小さな敷地に、高さ1m弱の自然石が置かれ、石面には彼の揮毫による「新劇 愉し哀し」と刻まれています。その碑は、少年時代に遊んだ文殊山を仰ぐように向き合っています。

福井支部 福山奈於美

福井を愛し続けた 宇野重吉の「演劇の碑」

ご当地紹介
きてみねの

会員物故者氏名(敬称略)

(日28年11月20日現在)

謹んでご冥福をお祈りします。

大野	門前	俊子	28	8	12
武生	八田	せい	28	7	23
武生	岡野	哲子	28	9	8
福井	森田	富美子	28	9	18
坂井	東村	卓治	28	9	28
福井	三田村	秀子	28	10	10
福井	塚本	清一郎	28	10	25
大野	杉原	精一	28	11	19
			91	87	87



蘭「ブラッシャー」
乾昭治氏

編集後記

先日、肺癆を克服した友人の話聞きました。様々な治療に耐えたのも事実ですが、驚いたのは「笑顔で寝る」ということです。そんなこと・・・とも思いましたが、考えてみれば笑顔の効果は確かにあるのかもしれません。

第二の人生を、生き生きと、楽しく、肅々と、体調不良と向き合いながら等々、いろいろな便りを頂戴しました。皆様日々悠々と生きておられます。金子みすゞの「みんなちがってみんないい」が頭に浮かびます。この通信が皆様をつなぐ絆になったらいいなと思っています。

中川美津恵、金林晶子、上出嘉代子

【お詫びと訂正】 前号の「お元気ですか」大石美代子様支部名を坂井支部に、「物故者氏名」早川様(大飯)の氏名を早川治様に訂正し、関係の皆様へ深くお詫び申し上げます。